

◆一次選定工法の集計(キーワード・工種分類の重複整理およびNETIS掲載期間終了技術)

凡例 重複して選定した工法

①	キーワード検索	②	工種分類検索	③	NETIS掲載期間終了技術検索		
1	AAAAA工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	1	AAAAA工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	1	KKKKK工法		
2	BBBBB工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	2	BBBBB工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	2	LLLLL工法		
3	CCCCC工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	3	CCCCC工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	3	MMMMM工法		
4	DDDDD工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	4	DDDDD工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	4	NNNNN工法		
5	EEEEE工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	5	EEEEE工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	5	OOOOO工法		
6	FFFFF工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	6	FFFFF工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	6	PPPPP工法		
7	GGGGG工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	7	GGGGG工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	7	QQQQQ工法		

37	IIIII工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	37	IIIII工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	37			
38	JJJJJ工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	38	JJJJJ工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	38			
計	38	計	38	計	21		0
重複	—	重複	38	重複	0	重複	0

工法数合計(のべ) 97 — 工法重複数合計 38 = 工法数 59 件

◆一次選定工法一覧表の作成

3-11. 一次選定工法一覧表

番号	技術名称	登録番号	技術副題	技術概要	備考
1	AAAAA工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	
2	BBBBB工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	
3	CCCCC工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	
4	DDDDD工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	
5	EEEEEE工法	NETIS掲載期間終了技術	
6	FFFFFF工法	NETIS掲載期間終了技術	

◆二次選定基準に対する評価および選定

4. 二次選定表

4-1、4-2. 二次選定基準の設定による評価および選定

- ① 固結工法(浅い混合処理工法、中層混合処理工法、深層混合処理工法、高圧噴射攪拌工法)
 ※1.高圧噴射攪拌工法は、狭隘な箇所、構造物近傍の施工に適した工法であり、経済性で高価となるため除く
- ② 全面改良に適用可能
- ③ 改良深度4.1mに対応
- ④ 技術提供地域等(九州地方整備局管内)
- ⑤ 土質条件(※2)に対応可能
 ※2.粘性土(N値10以下)

番号	技術名称	登録番号	技術副題	技術概要	二次選定基準評価結果	二次選定	選定理由	備考
1	AAAAA工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	① 固結工法(※1) → ○ ② 全面改良に適用可能 → ○ ③ 改良深度4.1mに対応 → ○ ④ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○ ⑤ 土質条件(※2) → ○	○	全ての条件に適合する	
2	BBBBB工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	① 固結工法(※1) → ○ ② 全面改良に適用可能 → ○ ③ 改良深度4.1mに対応 → ○ ④ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○ ⑤ 土質条件(※2) → ×	×	粘性土の適用N値5以下までであり、今回の条件に適合しない。	
3	CCCCC工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	① 固結工法(※1) → ○ ② 全面改良に適用可能 → ○ ③ 改良深度4.1mに対応 → ○ ④ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○ ⑤ 土質条件(※2) → ×	×	粘性土の適用N値1以下までであり、今回の条件に適合しない。	
4	DDDDD工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	① 固結工法(※1) → ○ ② 全面改良に適用可能 → ○ ③ 改良深度4.1mに対応 → ○ ④ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○ ⑤ 土質条件(※2) → ○	○	全ての条件に適合する	
5	EEEEEE工法	NETIS掲載期間終了技術	① 固結工法(※1) → ○ ② 全面改良に適用可能 → ○ ③ 改良深度4.1mに対応 → ○ ④ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○ ⑤ 土質条件(※2) → ○	○	全ての条件に適合する	

◆二次選定比較表の作成

※ 開発者等に単価等をヒアリングし、比較表を作成

5-1. 二次選定比較表の作成

工 法 名		従来技術(スラー攪拌工)	AAAAA工法	BBBBB工法	CCCCC工法
登 録 番 号		—	〇〇-〇〇〇〇〇-A	〇〇-〇〇〇〇〇-V	NETIS掲載期間終了技術
開 発 会 社		—	□□□□会社	△△△△会社	〇〇〇〇会社
技 術 概 要		地盤中にセメント及び石灰系固化工材をスラー状(セメントミルク又はモルタル)で圧送・注入し、攪拌翼で原地盤と攪拌・混合することにより均一な混合処理改良体(コラム)を造成する工法である。			
特 徴 (長 所 ・ 短 所)		すべり破壊防止、支持力増強(沈下低減)、掘削法面の安定等に多く採用され、道路・河川・海岸の各種構造物に対して施工されている。			
概 算 工 事 費	施 工 費	従来技術は 現場条件を 考慮し設定	ヒアリング等により作成		
	材 料 費				
	特 許 料				
	合 計				
	工 事 費				
概 算 施 工 日 数					
経 済 性			向上○%	向上○%	向上○%
工 程			短縮○%	短縮○%	短縮○%
品 質 ・ 出 来 形			向上	向上	向上
安 全 性		従来技術であるため基準とする	向上	向上	向上
施 工 性	特 殊 機 械		有	有	有
	施 工 性		向上	向上	向上
環 境 (景 観 性)			向上	向上	向上
開 発 地 域 (地 整) ※開発会社の本社所在地とする					
留 意 事 項					
施 工 実 績 (過去3年程度)	国 土 交 通 省	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
	地 方 自 治 体	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
	そ の 他	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
特 許 等	特 許	-	-	-	-
	特 許 使 用 料	-	-	-	-
	実 施 権 設 定	-	-	-	-
備 考					

◆結論

※ 二次選定比較表より、工法選定の重要事項の抜粋および留意点等を整理し、工法選定の結果をとりまとめる。

現場条件に該当する技術は、○技術が選定された。
以下、工法選定の重要事項について、二次選定表より抜粋した。
また、NETISより活用効果評価結果を別資料として添付する。

工 法 名	○○○○	△△△△	□□□□	▽▽▽▽	◇◇◇◇	☆☆☆☆
登 録 番 号	○○-××××-◎	○○-××××-◎	○○-××××-◎	○○-××××-◎	○○-××××-◎	NETIS掲載期間終了技術
技術の位置付け(有用な新技術)	[設計比較対象技術]	[設計比較対象技術]	[設計比較対象技術]	[設計比較対象技術], [活用促進技術]		
概 算 工 事 費	○○、○○○円/m ²	△△、△△△円/m ²	□□、□□□円/m ²	▽▽、▽▽▽円/m ²	◇◇、◇◇◇円/m ²	☆☆、☆☆☆円/m ²
概 算 施 工 日 数	○○m ² /日	△△m ² /日	□□m ² /日	▽▽m ² /日	◇◇m ² /日	☆☆m ² /日
施 工 実 績 (過去3年程度)	国土交通省	全国 ○○○ ○○ m ²	全国 ○○○ ○○ m ²	全国 ○○○ m ² ○○ m ²	全国 ○○○ m ² ○○ m ²	全国 ○○○ m ² ○○ m ²
	地方自治体	全国 ○○○ ○○ m ²	全国 ○○○ ○○ m ²	全国 ○○○ m ² ○○ m ²	全国 ○○○ m ² ○○ m ²	全国 ○○○ m ² ○○ m ²
	そ の 他	全国 ○○○ ○○ m ²	全国 ○○○ ○○ m ²	全国 ○○○ m ² ○○ m ²	全国 ○○○ m ² ○○ m ²	全国 ○○○ m ² ○○ m ²
留 意 事 項		材料の注文から納品まで、 2箇月程度必要		特殊機械及び○○資格者 による特殊な施工となり、施 工業者に制限がある。		

工法選定の留意点

- ① 上表の概算工事費及び概算施工日数は、施工規模○○m²以上の場合とする。なお、工事費は概算であり、実際の積算には使用できない。
- ② 『△△△△』の材料は受注生産となり、注文から納品まで2箇月程度必要となる。
- ③ 『▽▽▽▽』については、特殊機械及び○○資格者による特殊な施工となり、施工業者に制限がある。